



仙台スタジアム (ユアテックスタジアム仙台) の 令和3年度の年間利用日はたった50日間!



スポーツとまちづくりを考える会へ250名以上の方にご参加いただきました。



市民が楽しめる「スタジアムパーク」へ!
市は利用率向上に向けて周知徹底を!

令和3年度の仙台スタジアムは、ベガルタ仙台25試合、マイナビ仙台6試合など計50日の利用しかなく、近隣の七北田公園内に2か所あるウォーミングアップ場などの運動施設はさらに少ない利用状況です。ここは全天候型の人工芝のスペースで子どもたちのサッカーやラグビーなどの練習にもってこいの場所。広さは630㎡、利用料金は1時間560円。広さ72㎡、立派な長丸テーブルがあり、20人まで可能なミーティングルームは1時間440円。しかも駐車場はなんと無料です。こんな素晴らしい施設が週に一度の利用もおぼつかないほどの低利用率。

このような市民の利用実態は仙台市当局の努力不足と言わざるを得ません。市民の利用促進に向け、しっかり周知徹底することを強く要請しました。



周辺市町村との連携は 待ったなし! 仙台市の 呼びかけで人材交流を!

仙台市は、名取市・富谷市・川崎町・多賀城市・利府町・七ヶ浜町・大和町・色麻町・村田町、そして山形県山形市・東根市・尾花沢市と、12もの市町村と隣接しています。

この周辺市町村との連携や協力体制の確立、信頼関係の構築は、常日頃からお付き合い無くして実現することはできません。先の「4病院再編問題」においても、お隣の名取市・富谷市との連携や信頼関係は果たして円滑に行われていたのだろうか、と疑問が残ります。

私は仙台市が発起人となり、周辺市町村との「人事交流」を呼びかけることを提案いたしました。周辺市町村の首長同士、職員間の信頼関係を構築し、気軽に情報交換できるネットワーク環境の確立することは、東日本大震災のような災害時はもちろん、職員のレベルアップにもつながるはずですよ。

仙台市長は
大仙台都市圏のリーダーであれ!



「仙台・山形」ブランドを 全国発信!

全国の観光展や物産展などにおいて、「仙台」というブランドは「北海道」「京都」「沖縄」などの強力な地域ブランドを持つ他県に残念ながら埋もれている状況です。そこで「仙台・山形」のブランド化を図り、全国発信に努めてはどうか、と考えます。

仙台-山形間は混雑時には5分おきに高速バスが走り、相互に多くの人々が通勤・通学など行き来するエリアです。

綿密な協力・協調のもとに今以上の仙山連携を深めてはどうか、と提案いたしました。

早速、第3回定例会に「仙台・山形」での観光プロモーションのための補正予算が計上されました。

市民生活・物流の大動脈 「東部復興道路」の 早期改善を!



若林区藤塚にオープンし、連日盛況の「アクアイグニス仙台」から南北に走る東部復興道路、いわゆるかさ上げ道路には2本の道路が交差します。このうち北側の交差点には信号機があり3方向に進めます。一方南側の交差点には信号機が無く名取市関上方面にしか行けず、無理な合流を行う車両などが見られ、危険な状況です。この交差点に信号機設置することを早期に協議するよう求めました。また、災害時の電源喪失を考え、避難方向を指示する標識や看板も設置すべきと求めました。

この場所は渋滞ポイントでもあり、市民のみならずは大変迷惑をおかしています。仙台港と仙台空港を結ぶ重要な物流道路であり、片側2車線に拡張していくのが本来の姿です。信号の時間調整など渋滞の緩和策と併せて、物流の大動脈であるこの道路の将来像をどう考えていくのか、積極的な協議を求めました。

東部復興道路の渋滞緩和へ!
県や県警などと信号機の設置の協議を!



地域の課題解決に向け、**行動します！ 実現します！**



農業関連資材・肥料の価格高騰の影響を受ける地元農業者への支援を常任委員会で強く要請!

行動します!



国に先駆けて仙台市として、自給率の向上・経済安全保障の観点も含め、地元農産物支援の方向性が示されました。



遠見塚の子どもたちの通学路が雨水で通行できない!



地域と連携して区役所に要望し、即解決しました!



通学路に雨水施設がないため冠水していた。 雨水溝、排水管等を設置し解消。安全な通学路に。



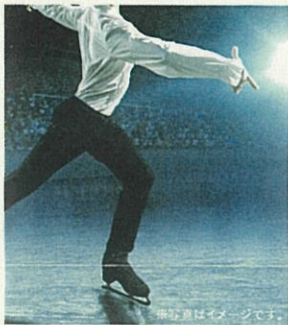
東街道-文化町-六十人町-五十人町など工事跡による道路路面のデコボコをどうかしてほしい!

行動します!



今年度、水道管の老朽化対策を行い、令和5年度に舗装工事を行います。ご不便おかけいたしますがもう少しお待ちください!

「羽生結弦選手の地元仙台にアイスアリーナ建設を！」 私の提言が、**またも全国的な話題に!**



以下、「週刊女性(2022年8月16日号)」より抜粋

「仙台では、すでにそれに向けて動き出している人物がいる。仙台市議会議員の佐藤正昭氏だ。『今年2月、北京五輪が終わった直後に、“アイスアリーナを仙台に建設する必要がある”と議会で提案しました。仙台の五色沼という場所は日本におけるフィギュアスケート発祥の地でもあります。その仙台から、羽生選手、荒川静香さんという冬季五輪の金メダリストが2人も輩出され、合計3個の金メダルがもたされました。(中略)彼

に勇気もらったわれわれが、今度は彼に恩返しする番だと考えているんです。羽生選手のスケートを世界中の人に見てもらいたい。しかし、リンクがないと話にならないのです。(以下省略)』

「私の夢は、仙台から始まり、最後にまた羽生選手が仙台に帰ってくるような世界ツアーを実現させること。(中略)子どもたちや、彼のスケートを見たいという人たちの願いを叶えるようなリンクを、羽生選手の故郷・仙台につくりたいと思っています。」

「女性自身」につづき
「週刊女性」から取材を受け、
コメントが掲載されました!



子育て環境充実 調査特別委員会委員・佐藤まさあきの

せんだい子育て情報

「保育所等地域子育て支援センター」に遊びに来ませんか?



仙台市では、地域の子育て家庭が「喜び」と「ゆとり」を持って子育てができるよう、保育所等では育児に関する専門的な機能を生かし、気軽に利用できる育児相談などの育児支援事業を無料で行っています(講座等での実費負担は除く)。育児相談のほか、親子で楽しめる講座なども人気です。

現在、仙台市内には27ヶ所の「保育所等地域子育て支援センター・支援室」があります。若林区には「荒井ママー子ども園」「蒲町保育所」「南小泉保育所」に子育て支援室がありますので、ぜひご利用ください。くわしくは仙台市ホームページをご確認ください。



あなたの声、
お聞かせください!

仙台市のコロナ対策、市政へのご意見・ご要望、地域や暮らしのご相談などお気軽にお寄せください。



TEL 783-3255



FAX 783-3255

※留守電の際はメッセージを残してください。折り返しこちらからご連絡いたします。



masaaki.sendai@gmail.com

仙台市議会議員(若林区)

さとう まさあき

佐藤 正昭

所属会派: せんだい自民党



- ・宮城県リズムダンス連盟 会長
- ・宮城県ユースホステル協会 会長
- ・パークゴルフ議員連盟 会長
- ・木材利用促進議員連盟 幹事長
- ・仙台市立高校を支援する議員の会 代表
- ・仙台市立工業高等学校同窓会 前会長
- ・仙台市ボクシング協会 会長
- ・若林区空手道連盟 会長
- ・仙台市テコンドー協会 会長
- ・自由民主党 仙台市若林区支部長 など

- ◎全国の志ある青年議員と共に、全国若手市議会議員の会を結成。第4代会長として活動。全国的ネットワークが強み。
- ◎「スポーツ市議の会」会長・幹事長として、ベガルタ仙台、仙台89ERSを強力に支援。東北楽天ゴールデンイーグルスの仙台市誘致に尽力。現在、七北田公園のボールパーク化に向け、活動中。
- ◎仙台をより活力のある街にするため、福岡市にライバル都市宣言を実現。仙台成長会議を核に、観光交流、物産などを「仙台・福岡ブランド」で日本中・世界中に発信中。